

社会保険労務士のむら事務所通信

2018秋号
発行人：野村祐輔
2018年11月1日発行
第11号

未来を予想していくために。

現代人が1日に触れる情報量は、なんと平安時代の一生分、江戸時代の1年分と言われています。しかし沢山の情報が溢れている時代なのに、現代は10年後、いやいや数年後すらわからない時代とも言えます。事業を展開されている皆様も先の時代を見通そうと、常日頃から数多くの情報を追っておられることと思います。ただ、幾千万の情報の中から、本当に有益な情報を見つけ出すのは難しいものです。さらに正しい情報の精査と言うことも必要になってきています。

では、これからの時代を予見する正しい有益な情報はあるのでしょうか？

私はあると思います。多くの方が目標としている未来への提言というのが、社会にはいくつかあり国際社会や国家が推進していることと旗振りを行っているのです。

まずは、SDGs（エス・デー・ジーズ）。SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。これは国連が2015年に採択し、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。推進目標として環境や格差是正、人権を網羅した諸問題が17項目挙げられています。もちろん国連が目標としているのですから、世界のこれから進む方向性に合致しているのは間違いのないところです。SDGsに直接関連した業務や行動指針を展開している会社には要注目です。



SDGsをはじめとして、これからの事業発展には社会貢献活動も大きく必要になってくる時代になってきました。例えば環境問題などは今まで事業を継続していくためには、あまり考える必要も無かったことでした。今でも直接利益に繋がる可能性は低いでしょう。しかしこれだけ技術の革新が速い昨今、なかなか新しい技術やコンテンツが生まれても、すぐに他社に追いつかれ差別化を図るのは容易ではなくなってきています。その中で人間に優しい企業、環境問題に取り組んでいる企業というのはブランド力も上がり他社との差別化を図れます。企業内でも社業に対する意識や自社へのプライドが高まり、雇用の安定や仕事へのヤル気度にも影響してきます。さらに最近では投資家も、企業のCSR活動に対する取り組みなど、企業の社会貢献度は投資基準として注目されています。

もうひとつの未来の指標として、内閣府が”Society 5.0”を提唱しています。これは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すものです。他にも、もちろん未来指標はあるのですが、まずはSDGsとSociety 5.0この2つは覚えておいた方が良くと思います。

2019年4月より有給休暇取得5日が義務化

働き方改革が現実的に着々と進んでいく中その1弾と言うべき法改正が行われ、有給休暇の取得の義務化（5日）が来年4月より施行されます。

具体的な内容としては、

- ①対象となるのは年次有給休暇が10日以上付与される従業員（年次付与が10日未満の方は該当しない）
- ②従業員ごとに付与した日（基準日）から1年以内に5日以上取得が義務。
- ③5日以上取得できない従業員に対しては、使用者による時季指定が必要
- ④違反した場合は、30万円以下の罰金
- ⑤使用者は従業員ごとの年次有給休暇管理簿を作成し、3年間の保存が義務化となります。

また、時季指定をする場合は、従業員の意見を徴収し、その意見を尊重するよう努めることも求められています。

これから2020年4月の36協定の厳格化（大企業は2019年4月から）などもあり、働き方改革が順次法制化され施行されていきます。今のうちからその対応を考えていかなければなりません。

CMでよく見る、インディード（Indeed）って何？

CMで、よく見かけるインディード（Indeed）は世界最大の規模を持つ「求人特化型の検索エンジン」と言われるものです。

簡単に説明をすると、世の中の求人サイトや企業の採用情報など、“求人情報だけ”を集約した総合求人サイトということ。つまり”求人版Yahoo検索”ですね。会社側としても自社のサイト内で求人情報を載せているだけで（一定の基準を満たすページは）indeedに求人情報と認識され、勝手にIndeedに掲載されます。またハローワークや他の求人情報会社のサイトからも求人情報が集められています。さらにIndeed内にも無料で掲載登録できるページがあります。一方、広告費を支払えば検索結果でスポンサー枠という目立つ場所に表示できるというサービスもあります。

現在求職者の大多数が、Indeedを参考にしていると言われています。Indeed対策をすることが、求人の有効な方法となっているのは間違いありません。

つぶやき

今年の2月に仲間達と農業法人を立ち上げました。農業を通して障害者を雇用していこうという農福（農業・福祉）連携の志のもと集まった6人です。ただ志だけでは、なかなか現実には厳しかった！この夏はまさに新規就農者殺しの暑さの毎日でした。熱中症で倒れる人も続出、農作物の出来も他の農業者と比べて決して良いとは言えない状況。そんな中、先日収穫の一環として、芋掘り&バーベキューイベントを開催いたしました。参加者はなんと60名超。大いに盛り上がり、またこれだけ支援をしていただける仲間がいることに感謝、そして次年度に対する奮起の気持ちが湧いてきたのでした。

